

目次

第1章 計画の基本的事項	1
第1節 計画策定の趣旨と考え方	2
第2節 計画の性格と役割	4
第3節 計画の期間	4
第4節 計画の構成	5
第2章 計画の基本方向	6
第1節 群馬県の環境行政を振り返って(2020-2025)	7
1 群馬県及び国等の動き	7
2 施策の柱(4本柱)ごとの振り返り	8
第2節 群馬県の環境の現状	12
1 温室効果ガス	12
2 水質	12
3 地盤	14
4 大気	14
5 公害苦情	15
6 騒音	15
7 廃棄物	16
8 野生動物	17
9 森林環境	18
10 環境学習・自主的取組	19
第3節 群馬県の特徴	20
1 日本を東西南北に結ぶ高速交通ネットワークの結節点	20
2 多彩で豊かな自然資源と快適で住みやすい風土	20
3 世界に誇る歴史と文化	21
4 多様で高度な産業集積	21
第4節 時代潮流	22
1 人口減少と人口構成の変化	22
2 我が国で切迫する巨大災害	23
3 技術革新の進展	24
4 地球環境問題	24
第5節 県民の意識	30
1 環境への関心	30
2 身のまわりの環境に対する満足度	31
3 環境保全への取組	32
4 地球温暖化防止のための取組	33
5 環境意識の変化	35
第3章 群馬県が目指す将来像と計画の基本的目標	36
第1節 2040年に向けた群馬県の環境の将来像	37
【現状と課題】	37
【ぐんま5つのゼロ宣言】	37
【新・群馬県総合計画】	37
第2節 目指すべき群馬県の環境の姿	38
1 2040年に向けた群馬県の環境の将来像	38
2 2040年分野別ビジョン	39
第3節 計画の基本指針	41
1 環境に責任を持つ人づくり	41

2	自然と共生できる地域づくり	41
3	環境への負荷の少ない循環型社会づくり	41
4	各主体の役割分担と参加のための仕組みづくり	42
第4節	SDGsの考え方の活用	42
第4章	施策の体系	43
第1節	施策の柱(4本柱)と3つの要素	44
1	施策の柱(4本柱)ごとの2030年目標、取組の方向性及び各主体の役割	45
2	事業テーマ	52
第5章	施策・事業の展開	54
第1節	地球温暖化対策の推進	55
1	脱炭素社会の実現に向けて	55
2	気候変動適応策の推進	58
3	再生可能エネルギーの導入拡大・地産地消	60
4	水素利用の普及促進	61
5	二酸化炭素吸収源対策	62
6	フロン類排出抑制対策	63
第2節	持続可能な循環型社会づくり	65
1	5Rの推進	65
2	廃棄物等の適正処理の推進	69
3	災害廃棄物処理体制の強化	71
4	持続可能な社会を支える人づくり	72
5	多様な主体との連携・パートナーシップの強化、自主的取組の拡大	74
第3節	自然との共生と森林(もり)づくり	76
1	ネイチャーポジティブ経済の推進	77
2	生態系に応じた自然環境の保全と再生	78
3	野生動物対策と外来生物対策への取組	80
4	自然とのふれあいの拡大	82
5	森林環境の保全	84
6	里山・平地林・里の水辺の再生	86
第4節	安全・安心で快適な生活環境づくり	87
1	水環境・地盤環境の保全、土壌汚染対策の推進	88
2	大気環境の保全、騒音・振動・悪臭の防止	90
3	有害化学物質等による環境リスクの低減	91
4	快適な生活環境の創造	93
第6章	進行管理	96
第1節	各主体の役割	97
1	県民	97
2	団体・NPO	97
3	事業者	97
4	教育機関・研究機関	97
5	県・市町村等	97
第2節	各主体の計画の実施方法	97
1	県民・事業者	97
2	団体・NPO	98
3	教育機関・研究機関	98
4	県・市町村等	98
第3節	計画の進行管理	98
1	計画の管理	98
2	環境指標による点検・評価	98
3	県環境審議会での点検・評価	98

4 環境白書による公表	98
資料編	99
「群馬県環境基本計画2021-2030」進捗状況調査結果	100
1 調査概要	100
2 事業評価の集計結果	100
3 施策展開の概要	101
2024(令和6)年度環境問題に関する意識アンケート調査結果	121
1 調査結果概要	121
2 県民アンケート(抜粋)	122
3 事業者アンケート(抜粋)	133
4 環境団体アンケート(抜粋)	158
群馬県環境審議会委員名簿	161
1 群馬県環境審議会 委員	161
2 群馬県環境審議会環境基本計画部会 委員	161
群馬県環境基本計画策定の経過	162
群馬県環境基本条例	163
SDGsと実施施策との関係	169